

力覚遍在化技術の社会実装のためのプラットフォームの実現

一空間の“まるごとタッチセンサ化”技術の開発と事業化一

吉田貴寿・近藤豊生
渡辺貴史・橋本大輝

<目的>

デジタル化されていないあらゆる物体の表面をタッチセンサ化する
「力覚遍在化技術」をプラットフォーム化し、広く提供する。



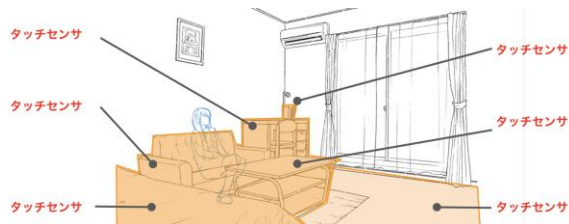
<成果>

技術面 遍在力覚入力システムに基づく空間インタラクションを自由に設計できるソフトウェアと、既存の部屋を力覚化できるハードウェアの開発により、社会実装を促進するプラットフォーム（sensorium）を構築した。

事業面 国内外2回の展示会出展を通じて、プラットフォームを用いた空間アプリケーションのデモンストレーションを行い、生活空間や商空間における技術広報を行った。エンタメ・ヘルスケア・モーションキャプチャ・スポーツ領域をはじめとした事業者を協業パートナーとして実証実験・製品開発を行った。

<効果>

空間内の机、棚、床などのすべてのインテリア表面をインタフェースとして、革新的な空間体験を思いのままに設計することが可能となった。



”まるごとタッチセンサ化”技術の概念図



未踏期間で改良開発した力覚計測デバイスとSDK



DCEXPO2023 出展